

カリキュラム

機構施設名：北海道職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社日本能率協会コンサルティング

B.組織マネジメント	経営戦略	ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合
-------------------	-------------	--------------------------------

コースのねらい	世界中の企業がSDGsを経営の中に取り込もうと力を注いでおり、SDGsを経営に組み込むべく様々な取組が進められている中でSDGsの必要性を理解し、自社のビジネスの成長につなげる知識を習得する。
----------------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	SDGsの概要		<ul style="list-style-type: none"> ●2024年の4大サステナビリティ課題を知る ●SDGsを”5層構造”で大づかみする ●なぜいまSDGsが必要なのか？(ESG投資、DX、CSRとの関連)
2	SDGsの取組		<ul style="list-style-type: none"> ●事例1:脱炭素とSDGs(カーボンニュートラルの実践) ●事例2:フードロスとSDGs(一日一人茶碗一杯分のロスを無くす) ●事例3:人的資本とSDGs(働きやすさと働きがいの両立) ●事例4:プラスチック問題(健康被害への懸念) <ul style="list-style-type: none"> ●成長戦略としてのSDGs ●自社の重要課題(マテリアリティ)を理解する 【演習Ⅰ】 自社の事業活動にSDGsを紐づける	1.0
3	開発目標の戦略		<ul style="list-style-type: none"> ●SDGsを会社の戦略に落とし込む5ステップ ●1. 理解、2. 重要課題決定、3. 目標とKPI設定、4. 経営統合 ●5. 外部発信と成長戦略 ●各ステップの国内外の企業の成功事例と失敗事例 【演習Ⅱ】 「自社が解決可能なサステナビリティ課題を発見する」 <ul style="list-style-type: none"> ●個人検討、グループ討議、発表 ●講師からのフィードバック ●Q&A 	1.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ●SDGsに取り組むことは、実は「目的」ではなく「手段」です。 ●SDGsに取り組む最も重要な「目的」は、一言で言えば「2030年に向けた成長戦略を考える」ことにあります。そのため、自社の顧客や業界、地域社会が抱える社会課題をSDGsを使って発見し、社会や顧客のニーズを先取りする活動が始まっています。 ●ハードルの高い社会課題(例:脱炭素、脱プラ、若者の貧困…)を解決するためには”現状の事業を見直し、持続可能な方向(例:DXや新しい資本主義等)にシフトすることが不可欠”です。何故ならSDGsは「未来は現状の延長線上にない」と示しているからです。 ●本プログラムは上記を理解してもらうため、SDGsを平易に解説し、事例を多用し、その使い方等について超基礎から研修します。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) ・PC(講師持参)
●使用するテキスト ・オリジナルテキスト ・特別資料「SDGsターゲット一覧」	●その他

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・黒)	